

双松会会報

第12号(「双松」通巻17号・「松高北高同窓会報」通巻第17号)

発行 松江市奥谷町164
島根県立松江北高等学校内 双松会事務局 TEL ④4888-④0655
印刷 有限会社 高浜印刷所 TEL ④3000



ご挨拶



会長 柴田 午郎

政治のことは私にはよく分らないが、新聞で見るとこの頃の海部内閣は、いろいろと言われている。十月の任期までもつと、もたないとか、或いは政治改革の行方はどうか、この

十一月二日に、われわれ双松会では、創立百十五周年の全国大会を予定しているが、その機会に私は是非竹下元首相の記念講演をお願いしたいものだと考えている。然し竹下氏はこの頃、毎日のように新聞紙に写真や漫画の似顔絵が出て、日本政界の中心人物の一人である。講演などをお願いしても、首相候補の一人として、或いはまた現実

に首相になって居られるかも知れないから、われわれのお願いはビシヤリと秘書から断られるであろうが、お国

の為にこれ程結構なことではない。しかし時期は別として、是非一度は、否二度でも三度でも母校の演壇でのお話をききたいものである。久しく不自由であった北高校のグラウンドも、まん中を大きな道が横切っている不便はあるが、どうやら生徒諸君も元気に活動している模様である。時は濃緑の候、二本松の一本が枯れたのは致し方ないことだが、会員諸氏の御厚志による換金と、学校当局の行きとどいた配慮で、赤山周辺の環境はだんだんと美しい。古い会員諸氏には是非総会の機会にでも城山・赤山・塩見縄手のあたりを散策していただきたいものである。

この頃NHKのテレビで「太平記」を放送している関係で、隠岐島がしきりにお客さん誘致につとめている。旧蹟も大切だが、われわれ俗人には、豊富な魚や貝類の味とその量とが、格別

の魅力である。もう一つ。一昨年松江で菓子の博覧会をやって以来、松江のお菓子が一段とおいしくなった。もともと松江はお茶処、お菓子処だが、沢山にある松江のお菓子屋さんも、あの菓子博以来、うんと力を入れたとみえて、新趣向をこらした和菓子や洋菓子、それに包装にも力を入れて、見違えるほど美しくなった。遠隔地の会員諸氏に、これまた是非ご賞味願いたい。コーシヤルのようなことを述べたが、所謂都会のドーナツ現象で、最近松江大橋の周辺が淋れている。白濁本町と天神町の間にあった松江郵便局の

移転跡地へ、目下六階のビルを建築中で、これを活用して町内繁栄の一助にしようとする努力されている。卒業生諸氏にも、是非母校のある松江を見直していただきたいと思う。こころ、二年、政界をはじめとする世代交替の現象は著しい。五月場所で見た角力界の若手台頭など、気持ちのよいものであった。しかし他人のことばかりではなく、「老兵は去る」という言葉もある。私自身たいへんな老兵であることは充分自覚していることを申し上げて、ご挨拶を終る。

ほとばしる若い力



校長 松本 幹彦

双松会会員の皆様にはますます御健勝で御活躍のこととお慶び申し上げます。

今春、赤山の学舎を巣立っていった全日制課程第百十期生(高校第四十二期生)四百四十四名と通信制課程第三十四期生八十九名が新たに本会に入会させていただき、会員数が三万人を超える大同窓会になりました。全国各地で若い卒業生たちが先輩諸兄姉の温かい御指導、御支援をいただいております。

美しい緑に囲まれた赤山の台地は年々施設設備が整備され、生徒たちはすばらしい環境の中で学業に励み、意欲的に部活動や生徒会活動に取り組んで充実した高校生活を送っています。六月に行われました第二十九回県高

校総合体育大会では各部男女の目覚ましい活躍で、これまでに例のない高得点を獲得して、二年連続八回目の男子総合優勝、八年振り三回目の男子総合優勝、二十八年振り二回目の女子総合優勝と、全ての部門を制覇して三冠王に輝くという快挙をなし遂げてくれました。

文化部もそれぞれ県大会に出場し、いくつかの部が個人や団体で優勝あるいは上位入賞し、全国大会に駒を進めることになりました。

このことは、生徒一人ひとりが「文武両道」をモットーに、日々勉強との両立を図りながら、厳しい練習に耐えて耐えて耐え抜いて、技術を磨き、精神力の強化に努めた結果であると思っております。持てる力をいかんなく発揮して全国の檜舞台で「松江北高ここにあり」と存分に活躍していただけることを期待しています。

松江北高校創立百十五周年記念

双松会 総会

- 一、日時 平成三年十一月二日(土) 午後二時～六時
- 一、会場 松江北高校体育館(松江市奥谷町)
- 一、会場 ホテル一畑(松江市千鳥町)
- 一、会費 六千円(懇親会会場で徴収させていただきます)
- 一、当日の日程
 - 午後二・〇〇～二・三〇 記念式典(北高体育館)
 - 二・三〇～三・三〇 記念講演(北高体育館)
 - 講師 竹下 登元首相 (松中61期)
 - 三・三〇～四・三〇 (バスで会場移動)
 - 四・三〇～六・〇〇 懇親会(ホテル一畑)

参加申し込み 出席のお方は、同封の葉書で九月二十日(金)(必着)までにご連絡下さい。(欠席の連絡は不要)

これだけ部活動ですばらしい活躍をした三年生のご様子から、これから来る春の大学入試を目指して精一杯頑張る、今年を上回る立派な成績を挙げられるものと確信しています。

さて、今年の十一月二日に開催される松江北高創立百十五周年記念双松会総会のセレモニーのうち記念式典と記念講演会につきましては、会場の都合もあって松江北高の体育館で行われます。多数の会員の皆様は母校に足を運んでいただけるものと期待いたしております。特に、西川津の校舎で卒業なさった皆様にとっては、赤山は馴染み

松 籟 (しょうらい)

また夏が来た。真昼の光が道路にはねかえり、街路樹の爽な桃を灼いている。しかし、この赤山台地は豊かな緑にまつまれて、平地よりよはるかに涼しい風がわたつていく。

このコラムが「松くい虫」から「松籟」にかわつてから二度目の夏だ。二本松の一本が枯死したのは、いかにも残念なことではあった。しかし、残った一本は赤山の主としての風格十分だ。

卒業生諸氏が松江に帰って同窓会を開かれる時は、きまつて二本松のあつた石段で記念撮影が行われる。そして懐しげに老松を仰いでおられる姿を目にする。やはりあの松は赤山のシンボルだとつくづく思う。

今年もこの松の下で後輩たちは、新学期早々応援歌の練習に励み、六月には県総合体育大会に出場する選手団を送り出した。結果は男女総合優勝。総体が始まつて二十九年の歴史の中で、八十六点という高得点をあげたのは、初めてのことだ。因に、これまでの最高得点は八年前本校が獲得した七十一点である。八月に静岡県で開催される全国総体に出場する選手諸君は総勢七十余名。檜舞台で活躍する赤山健児の健闘を祈つてやまない。

近年大学入試は年を追って難化する傾向にあるが、その中であつて北高生の健闘はめざましい。今春の国公立大を例にとれば、合格者数三百余名を数え、中国地方では、一、二位を競っている。このように、後輩たちも文武両道を着実に実践している。そこには、生徒たちの努力は言うまでもないが、何か底知れない伝統の力といったものをつくづく感じる。

今年には学校創立百十五周年にあつて、記念同窓会が開かれる年だ。一日、老松の下に座して目をとじていた。すると、松籟とともに、彼のつぶやきが聞こえてきた。「かつてのいけす子やつがもどつてくる。染しみたなあ。」彼は久方ぶりに赤山台地に集い、往時を追懐する卒業生諸氏を懐しく見おろすに違いない。その下で、赤山健児の歌、松高・北高の校歌を高らかに歌いたい。十一月二日がその日だ。心待ちにされる。

平成三年度 第一回役員会開催のお知らせ

本年度第一回役員会は、約八十名の出席者を得て去る六月二十二日に、一文字やホテルで開催された。会議は柴田午郎会長、松本幹彦学校長の挨拶に続いて、柴田会長を議長に選出し次の議題について審議が行われ、全て原案通り承認された。

議題

- 一、平成二年度会務報告
一、平成二年度会計決算報告、並びに監査報告
一、役員改選について
一、平成三年度会計予算審議
一、北高創立百十五周年記念総会について

報告

一、同窓会名簿について
○全国総会については一面記載のようになり、決定しました。尚、今後は五年毎に開催する予定です。
○役員改選については、今年改選の年ですが、総会終了後に改選することになりました。

平成2年度双松会会計決算書

Table with 2 columns: 収入総額 (4,578,148円), 支出総額 (3,701,046円), 残額 (877,102円)

Table with 5 columns: 収入, 費目, 予算額, 決算額, 増減△, 説明

Table with 5 columns: 支出, 費目, 予算額, 決算額, 増減△, 説明

平成3年度双松会会計予算書

Table with 5 columns: 収入, 費目, 予算額, 前予算額, 増減△, 説明

Table with 5 columns: 支出, 費目, 予算額, 前予算額, 増減△, 説明

通信制

全国総会に出席を!!

役員会報告に併せてお願い
通信制同窓会事務局 坂本 育穂

一ページに広報がしてある全国総会ですが、これについては役員会でも話が出ましたが通信制卒業生の方々にぜひご出席をお願いいたします。会則には「役員会をもって総会にかえ年一回行う」とあります。今年までの卒業生総数が二、五〇〇名となり一堂に会することはまことに困難な状況なので、役員会でお茶を濁し、また個々の同窓会に頼っている次第なので、この機会を大いに活用したいと思っております。別に場を設けたらという話も出ましたので計画したいと思っております。

日程

七月二十一日(日)午後一時
松江市内「ホテル六道湖」
出席者 十三名(徳田哲夫さんが那賀郡弥栄村から毎年出席されるのには頭が下がります)
石倉教頭、長谷川、梶村、坂本の四名。

審議

徳田副会長あいさつ。(藤原会長連発のため)石倉教頭あいさつ及び学校現況報告。(最近の生徒の状況に対して伊東健治さんより就職指導等があるのかとの質問あり)
(一)平成二年度決算報告(藤原会長)。同監査報告(後藤監事)
関連して昨年度の全国定通体育大会報告(梶村)
横田、福井先生への弔電。五十五年卒衛生看護科同窓会補助に一万円支出(坂本)同承認。
(二)平成三年度予算案(藤原会長)。前述の全国総会に対して初めて総会費を計上したこと。
今年度定通体育大会選手派遣について説明。過去八回の全国制覇に輝くバレーボールが始めて松江工業に敗れて出場権を失ったが、選

通信制同窓会平成2年度決算

Table with 5 columns: 収入, 費目, 予算額, 決算額, 説明

通信制同窓会平成3年度予算

Table with 5 columns: 収入, 費目, 予算額, 前予算額, 説明

一口 二、〇〇〇円
送付先 松江北高通信制同窓会事務局

手続数は昨年とほとんど同数であること。従って補助費は昨年と同額。(長谷川)同承認。
(三)その他。今年卒業の藤原重成さんを役員に委嘱。また同時に全国総会校外幹事もお願いしました。
昨年度の寄付は次の方々。
森山峯也、原 正人、徳丸 茂。
なお、後藤監事の監査報告中で、寄付金を積立金として特別会計にしたいことは適正であるとの示唆があったことを申し添えます。
寄付金総額は一年度までで九〇、〇〇〇円。昨年徳田さんが言われたように平成八年頃に五十年記念誌を発行するとか、総会を開くとかしたいと考へます。
残念ながら寄付を寄せて頂く方も減っています。(村上 旭さんからは左のとおりです。なにとぞ本年もよろしく願います。

お知らせ

近畿 双松会
近畿松江北高同窓会 大合同

平成三年度総会のご案内

長年の念願でした両会が大合同し、新近畿双松会として発足致しました。近畿と母校の「かけはし」として、同窓各位の交友、親睦の輪を拡大しましょう。
日時 平成三年十一月二十二日(金) 十八時より
場所 大阪弥生会館(JR大阪駅北側)
会費 男性八千円 女性七千円 家族六千円
当日は来賓として校長先生並びに諸先生、双松会本部役員、旧先生各位がご臨席されます。
連絡先 近畿双松会事務局
大阪府西区本田一四一三九
石倉ポンプ(株)内
TEL 〇六・五八三・一四九〇
FAX 〇六・五八四・二〇六六

近畿在住の卒業生の皆様方へ

昨年10月近畿松江高校・松江北高校同窓会の今後の運営について幹事会を開き検討した結果、
(1) 今後の行事はすべて近畿双松会と合同で開催する。
(2) 近畿双松会の維持と発展に積極的に協力参加することに決定いたしましたので皆様方にこの双松会報の紙面を借りてお知らせいたします。近畿在住の皆様方におかれましては今後ともどうかご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

近畿松江高校・松江北高校同窓会 会長 和田亮介 以下 幹事一同

事務局より

Table with 4 columns: 事務局長(校内幹事)の転出入, 転出, 転入, 菅野千恵(事) 野々村卓(社) 宮脇房子(英) 中村久良(事) 吉野栄悦(理) 山田雅子(事) 吉儀喜久(国) 小村育代(社) 後藤太(理) 錦織須美子(実助) 庄司肇(理) 井原泰(理) 忌部利夫(英) 平成三年四月の人事異動

平成3年度県高校総合体育大会

男子・女子総合二年連続八度目

男子総合八年ぶり三度目の優勝 女子総合二十八年ぶり二度目の優勝

第29回島根県高等学校総合体育大会は、前期が五月三十一日～六月二日まで、後期が六月七日～六月九日まで県下各地の会場で開催されました。その結果二年連続八度目の男子・女子総合優勝をすることが出来ました。しかも、今年は男子総合、女子総合と完全制覇をなしてあげました。

以下主な成績をあげておきます。

- 男女総合 優勝(八六・三三三点)
- 男子総合 優勝(五〇点)
- 女子総合 優勝(三六・三三三三三三)
- 陸上競技 男子総合 三位
- 女子総合 三位

- 男子 一〇〇M障害 一位(木村)
- 四〇〇MH 一位(木村)
- 三〇〇MH 四位
- 二〇〇M 六位
- 八〇〇M 五位
- 四〇〇MR 六位
- 一六〇MR 三位
- ハンマー投げ 二位
- 棒高とび 一位(藤沢)・六位
- 円盤投げ 三位
- 走幅とび 五位
- 女子 四〇〇M 二位・六位
- 八〇〇M 二位
- 三〇〇M 三位
- 四〇〇MR 四位
- 走幅とび 一位(藤沢)・三位
- 走高とび 五位
- 軟式庭球 三位
- 男子個人 (福田・三田組)
- 男子個人 三位(木村)
- 柔道 五位
- 男子個人中量級一位(伊野)
- 男子個人 二位(中田)
- 女子四八kg級 二位(中田)
- 男子総合 二位
- 女子総合 二位
- 女子シニエルフォア 二位
- 女子シニエルフォア 優勝

- シングルスカル一位(小川)
- 男子総合 三位
- 女子総合 三位
- 男子個人 四位
- 女子個人 四位(森井)
- 男子団体 三位
- 女子団体 四位(松崎)
- 男子個人 四位
- 女子個人 四位
- 新体操 四位(富田)
- 個人総合 五位
- サッカード 五位
- バドミントン 三位
- 男子総合 二位
- 男子団体 三位(二組)
- 個人ダブルス 三位(二組)
- 男子 優勝(八年ぶり)
- 女子 三位
- バスケットボール 優勝(二十二年ぶり)

今春の進路状況

来春の予想

「文武両道」の「文」、即ち、大学進学を主とする、卒業生の進路状況について、今春を振り返るとともに、来春の予想をまとめてみました。

受験生の増加により、ここ二三年大学入試は激化の一途をたどっています。加えて、国立大学の受験制度の毎年の変更に、年々のデータの蓄積を持つ本校も、各大学の基準値の設定等これまで以上に慎重に進路指導を進めなければならぬ状況です。

そのような中で、今春の進学状況は、抜群のものがありません。(詳しくは下の表をご覧ください。)国立大学二八七名は、中国五県では第二位の数字です。総体優勝を果たした後、やや例年より学習が遅れがちで、危機感をもって臨んだ戦いでありましたが、結果的には、見事な成果を上げることができました。生徒諸君の粘り強い追い込み・保護者の暖かい愛情・徹底した教科指導、三つが一体となって成し得た成果であったと思えます。

さて、来春に向かっての取り組みが

このうち◎陸上競技男子四〇〇M R(堀・北村・木村・藤沢・佐藤・三原)・二〇〇MH(木村)・男子走幅とび(北村)・女子走幅とび(藤井)・女子八〇〇M(深津)◎漕艇・女子シニエルフォア(中村・大谷・川島・佐々木・高橋)・シングルスカル(小川)◎柔道・中量級(伊野)◎軟式庭球・個人(福田・三田組)◎男子バレーボール

- 水泳 男子総合 優勝(十七年ぶり)
- 女子総合 二位
- 男子 五〇MF 一位(野津)
- 一〇〇MF 一位(金田)
- 二〇〇MF 一位(金田)・二位
- 四〇〇MF 一位(北村)
- 一五〇MF 一位(北村)
- 一〇〇MF 一位(高橋)
- 二〇〇MF 二位
- 二〇〇MF 三位
- 二〇〇MF 個人メド 一位(高橋)
- 四〇〇MR 二位
- 四〇〇MR 一位
- 八〇〇MR 一位
- (北村・高橋・野津・金田)
- 女子 五〇MF 一位(森岡)
- 四〇〇MR 一位
- (森岡・宮崎由・宮崎博・瀬崎)
- 四〇〇MR 一位
- (森岡・宮崎由・宮崎博・瀬崎)
- 二〇〇MF 個人メド 一位(宮崎博)
- 四〇〇MR 個人メド 一位(宮崎博)



このうち◎陸上競技男子四〇〇M R(堀・北村・木村・藤沢・佐藤・三原)・二〇〇MH(木村)・男子走幅とび(北村)・女子走幅とび(藤井)・女子八〇〇M(深津)◎漕艇・女子シニエルフォア(中村・大谷・川島・佐々木・高橋)・シングルスカル(小川)◎柔道・中量級(伊野)◎軟式庭球・個人(福田・三田組)◎男子バレーボール

平成2年度進学状況学校種別

(平成3年4月集計)

	63年3月			1年3月			2年3月			3年3月		
	現	卒	計	現	卒	計	現	卒	計	現	卒	計
国立大学	206	71	277	225	55	280	237	72	309	218	69	287
公立大学	6	5	11	11	2	13	4	6	10	9	7	16
私立大学	94	83	177	115	133	248	164	134	298	113	113	226
短期大学	86	4	90	128	4	132	107	10	117	136	6	142
その他	34	7	41	30	2	32	22	3	25	18	0	18
合計	427	169	596	509	196	705	534	225	759	494	195	689
クラス数	8(国公立大複数受験)			9(国公立大複数受験)			10(国公立大複数受験)			10(国公立大複数受験)		

コールかつちん

北高三十三期 木村 英一
コールかつちんの活動につきまして、日頃より応援、ご協力いただいております。誠にありがとうございます。この度、初めて私たち合唱団の事を載せていただくことになり大変感謝しております。

私たちコールかつちんは、小人数ですが、若さだけをとりえにしている合唱団です。それになんといつても勝部俊行先生に指揮・指導に来ていただいておりますので、かつて教えていただいた頃を思い出して、和気あいあいとした雰囲気の中で毎週一回練習しております。

学園祭

光顧…個性がくrevolution
今年度は横文字まじりで迫ります。北高生が自分たちの「個性」を結集して、何をしようとするのでしょうか。指示待ち人間などという言葉が言い習わされている時代に、なお、この「個性」を信じ、そこに「新しい革命」を「創る」、それも漢字で「つくる」という感じがします。

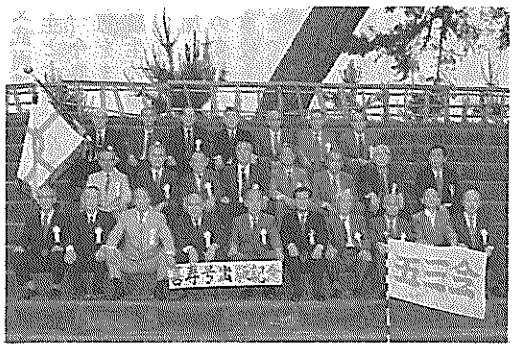
各期だより

昭五会

今村 龜太郎

卒業六十年大会

松江市制百年記念の平成元年四月十六日の慶き日を選び、一年繰上げの卒業六十年記念大会を開催した。



松中五十三期

田辺 疆

が午前一時半。いったい何軒歩いたのか!

喜寿号(紅陵)出版記念 昨年双松会報第十一号にて御案内の如く喜寿号(紅陵)出版記念行事を五月二十六日(日)挙行了。

夜五時、双松会長柴田午郎先輩と松江北高校校長松本幹彦後輩のご来臨と等、挨拶もそこそこ、私の写真集より抜粋したスライドの映写に移る。

遺族の追憶 十三名 思い出のアルバム 紅陵応援歌 同窓生の略歴 趣味の書画 五三会々則 あとがき

十一期

小林 哲朗

青春の意気に燃えだぎつていた高校時代の風貌に、三十年という歳月を重ねると、かくなる人物がでまがかります。

美保関町双松会発足!!

福岡 隆

さる六月二十八日(金)美保関町内の民宿にて美保関双松会が発足致しました。当日は現校長の松本幹彦先生を迎えて行なわれ、この四月の選挙で当選された、作野健雄新町長(十四期)、また、森脇敏信(十八期)、小沢秀多(十九期)両新町議の祝勝もかねて行いました。

二十五期

西山 彰

「北高第25期生同期会を初めて開催」昭和四十九年三月に北高を卒業して以来初めての同期会を去る三月二十一日松江ニューアーバンホテルにおいて開催しました。

三百人集まれ、松高三十三期

(昭和三十七年卒業・北高一期生)

二十三期

福岡 隆

昭和四十六年度卒の皆さんへ連絡!! 我々も昭和四十七年三月に北高二十三期生として卒業以来、来年で二十周年を迎えます。毎年の様に行っていました。

「山脈浮かびて半島みどりに...」校歌のなんと懐かしいことか。朝礼でなげなした歌に歌っていたメロディが、いまなんと心地よく胸を打つことだろ

最後に、北高校歌の大合唱と亀谷隆氏(9R水産会)の音頭で万歳三唱をして幕を閉じました。二次会は伊勢宮に繰り出しましたが、一次会に引き続き多くの出席者があり夜の更けるまでにぎやかに話が弾み



母校はこのところ文武両道をとり戻し、スポーツ界でもなかなかのモンです。現校長の幹さんも鼻高だかです。前回来れなかった友にも声をかけて、多数お集まりあれ!! (安原記)

双松会会報第十二号をここに届けています。今年の県総合体育大会は、昨年に続き、総合優勝を遂げました。男子、女子それぞれ優勝という、中身が一層充実したものです。静岡県で行われる全国総合体育大会に例年になく多くの在校生が参加することになりました。

編集後記

先般、業者より松江中学校、松江高校、松江北高校職業別名簿のはがきが届いていますが、これは業者独自で行っているものであり、双松会とは何ら関係がありません。

注意

双松会会報第十二号をここに届けています。今年の県総合体育大会は、昨年に続き、総合優勝を遂げました。男子、女子それぞれ優勝という、中身が一層充実したものです。静岡県で行われる全国総合体育大会に例年になく多くの在校生が参加することになりました。